保育所による自己評価

（保育士等の自己評価を踏まえた保育内容等の評価）

社会福祉法人くじら
とりのきくじら保育園

1　評価実施日　　令和　8　年　3　月　12　日

2　評価方法

当園では、保育の質の向上を目的として保育士等を対象とした自己評価を実施し、その結果を集計・分析した。その結果を踏まえ、園として保育内容及び保育の実施体制について総合的な評価を行った。

3　職員自己評価の結果概要

職員自己評価の結果、多くの項目において A（よくできている）及びB（おおむねできている）の評価が多く、保育所保育指針に基づく保育が概ね適切に実施されていることが確認された。

一方、一部の項目では C（努力が必要）　の評価も見られ、保育内容の振り返りや職員間の共有の充実など、今後の改善課題も確認された。

4　保育所としての評価

（1）保育内容

子どもの主体性を尊重し、一人ひとりの発達や生活状況を踏まえた保育が概ね適切に実践されている。

（2）子どもの理解と援助

子どもの発達過程や個々の状況に応じた関わりを行い、安心して生活できる環境づくりに努めている。

（3）保護者との連携

連絡帳や送迎時の対話等を通じて保護者との情報共有を行い、家庭と連携した保育を実施している。

（4）安全・健康管理

事故防止や健康管理に関する取り組みを行い、安全な保育環境の確保に努めている。

（5）職員の資質向上

園内研修や職員間の情報共有を通じて保育の質の向上に取り組んでいる。

5　今後の改善・取組

・職員自己評価の結果を踏まえ、次の点を中心に改善に取り組む。
・保育内容の振り返り及び職員間の共有の充実
・園内研修及び外部研修への参加による職員の資質向上
・保護者との情報共有のさらなる充実
・安全管理体制の継続的な見直し
・今後も継続的に自己評価を実施し、保育の質の向上に努める。